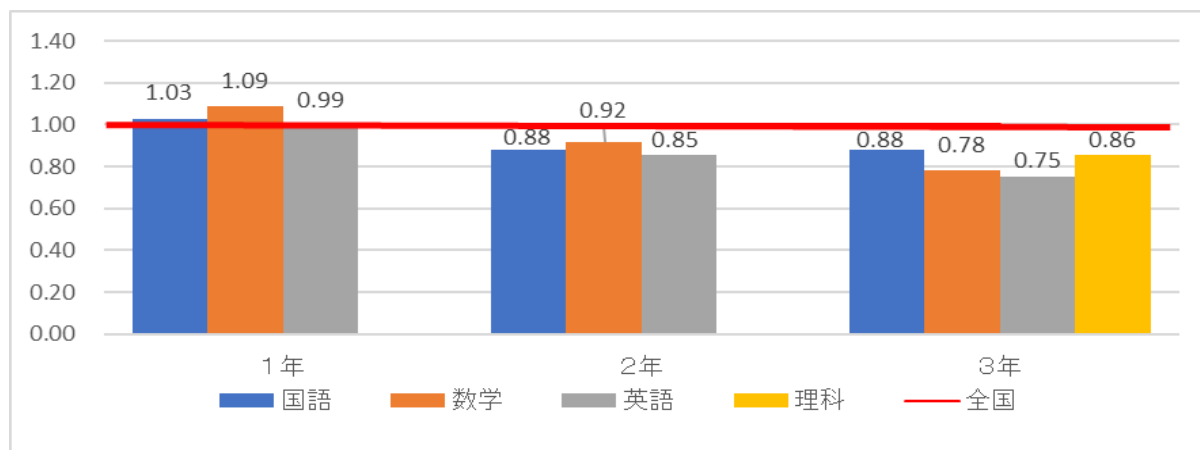


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第九中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生（国・数・英）及び中学3年生（英）は、寝屋川市学習到達度調査
中学3年生（国・数・理）は、全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	効果的な文章構成や論理的な展開、既習漢字の定着、説明的な文章の読み取りに課題がある。基本となる読みを徹底し個人→ペア・班→クラスの流れを基本に協働的な学びの充実を図る。
	数学	データの活用や情報を読み取る力の定着不足から、単なる計算だけでなく、情報を分析し活用する思考力の育成が今後の課題である。まず、計算のつまづきを細かく指導し、基礎学力の定着を図っていく。
	英語	まとまった英文から事実を書くことや読み取る力、自分のことを英語で書く力や正しい語順で英文を作る並び替え問題に課題がある。英単語小テストを実施し、英語の最も重要な基礎単語の定着へつなげていく。
全国学力・学習状況調査	国語	文章の構成や展開を考えること、自分の考えを根拠に基づいて記述する力、文章の再構成や場面に合った言葉や表現を選ぶ記述力や、書く内容の中心が明確になるように内容をまとめる力に課題が見られる。漢字テストとともに単元終わりにまとめる学習活動に取り組み、習慣化を進めていく。
	数学	「数と式」領域や、思考力・判断力・表現力に課題があり、数学が社会でどのように役立っているかを学ばせ、興味関心を高めるとともに、他教科の授業で数字を使う場面を積極的に取り上げ、数学が他教科や生活と繋がっていることを意識させる。授業初めに計算小テストを実施することで、計算力の向上を基本とし、日常で使っている数学に着目させる。
	理科	実験結果等から自分の力で考察していくことや何を問われているのか理解する力が課題。授業内で反復して基本的な問題に繰り返し取り組むことで基礎学力の定着に努める。
	質問紙	平日の学校の授業時間以外で家庭学習に取り組む時間の質問に「全くしない」生徒の割合が全国比3倍弱あり、宿題等による学習習慣の定着に向けた取組はもちろんのこと、日々の学習習慣の重要性について理解を深め、家庭学習の定着を図っていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

校区として聞く力・話す力を大切にしてディベート教育、教科教育に取り組むとともに、論理的・客観的・多角的思考を培い、考える力の育成に取り組んでいる。ねやがわスタンダードを基にした小中一貫教育を推進し、児童・生徒の学習習慣の定着を図っている。また児童・生徒の主体性を伸ばすとともに、努力する姿・良いところを認め、自己肯定感の向上を進めている。

【 学 校 】

「1回の授業を大切にしたい授業準備と実践」を重点目標に掲げ、日々の授業において主体的・対話的で深い学びの実現を推進。また、PBIS（ポジティブ行動支援）を通して自己肯定感を高め、互いに認め合い、自他を大切にして、協力し合える集団育成及び真剣に授業に取り組む校風の醸成をめざす。